

令和2年度
社会科学習指導案



令和2年 11月 20日(金)

【授業者】 松葉 一輝

【单元名】 「日本の諸地域—中国・四国地方—」

【学年・組】 2年 1組・33名

【場所】 3F 社会科教室

府中市立第一中学校

<本小項目でつきたい力>

本小項目では、日常の体験から仮説を立て、諸資料を使いながら科学的に分析して、新たに①社会的な見方・考え方を獲得する。さらに、その①見方・考え方では説明できない社会的事象に気づき、諸資料を用いて②新たな見方・考え方を獲得していく。このような思考の流れを踏むことで、さらにこの流れを何度も繰り返し行うことで、生徒は③社会的事象を多面的・多角的に見ることができる力だけでなく、論理的思考の流れを学習し、④論理的思考力の育成につながる。

【地理的分野 C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域～中国・四国地方～】

1 単元について

<単元観>

【中学校学習指導要領社会編地理的分野 内容 C 日本の様々な地域 (2) 日本の地域的特色と地域区分】

次の①～④までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

①自然環境 ②人口 ③資源・エネルギーと産業 ④交通・通信

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。

(イ) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解すること。

(ウ) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること。

(エ) 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解すること。

(オ) ①から④までの項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解すること。

(カ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けること。

イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること。

(ア) ①から④までの項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 日本の地域的特色を、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

本単元は、小項目として九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方と7つに分かれている。それぞれの小項目を、「①自然環境②人口③産業④交通や通信」の5つに考察の視点をわけた。これらの視点を基にして、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する学習を通して、日本の諸地域の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解できるようにすることをねらいとしている。

昨今の日本では、高速道路や新幹線など交通網の整備が進み、都市部と地方との時間距離が短縮された。その結果、地方から都市に向け仕事を求めた人口流出が目立つ。その中でも特に生産年齢人口の流出が多く、山間部を中心とした地方では過疎化が進行したことによって、地域の収入が減少し、医療や教育などのサービスが十分に提供できない等の問題が発生している。しかし、人口は減少しているが、交通網の整備による時間距離の短縮というメリットや地域の独自性を活かして、町おこし・村おこしを積極的に行い、地域の活性化につながられている状況もある。また、地方でも山間部だけでなく、中国・四国地方に多くみられる離島でも同様の事例が多くある。一方、都市部では人口が流入し、山間部とは異なった人口問題が発生している。そのため交通渋滞や住宅不足などの問題を解決し、住みやすい街にするためのまちづくりが行われている。

今回扱う中国・四国地方は、北海道地方、中部地方、九州地方、東北地方、近畿地方の順で学習を行い、近畿地方の学習の後に行う。このような単元構成にした理由は、「考察の仕方」に難易度があると考えられるからである。生徒にとって、個々の社会的事象が視覚的にも捉えやすいと考えられる「自然環境」や「産業」については前半で扱い、個々の社会的事象の相互関係について考える必要がある「交通・通信」や「人口や都市・村落」については後半で扱う。

<生徒観>

事前調査1（令和2年9月下旬実施）※回答者124人

調査項目	調査結果等
① 高速道路が作られたら私たちにどのような影響があるか？	<p>肯定的意見 人の移動が速くなる(56%)、人の行動範囲が広がる(16%)、モノの移動が多くなる(12%)、モノの移動が速くなる(11%)等</p> <p>否定的意見 森林が壊される(4%)、騒音(3%)等</p>
② 新幹線が開通したら私たちにどのような影響があるのか？	<p>肯定的意見 移動時間が短縮される(67%)、人の移動が活発化する(20%) 他県から人が来る(11%)等</p> <p>否定的意見 騒音(4%)、立ち退き(2%)等</p>
③ 扇橋の南側で新しい道路を建設している目的は何か？	<p>渋滞を無くすため(61%)、事故を減らすため(9%)、人を呼び込むため(4%)等</p>
④ 中央新幹線(リニア新幹線)が東京-大阪間で開通するとどのような影響があると考えられるか？	<p>肯定的意見 移動時間が短くなる(38%)、両府県が活発化する(9%)、駅周辺の人口が増える(8%)</p> <p>否定的意見 人が混む(9%)、周りの都市が衰退する(5%)、</p>

事前調査1は本単元に係る既有知識について調べた結果である。調査項目①・②の結果から生徒の半数以上が高速道路の整備と聞くと「時間短縮」を連想している。また、なかには、「行動範囲が広がる」や「他県から人が多く来る」といった意見も見られ、「時間短縮」という意見からより発展した思考をしている生徒もいる。また、調査項目④の結果から、「移動にかかる時間が短縮される」「両府県が活発化する」という意見があり、交通網の発達に係る良い影響について思考できていると考えられる。しかし、悪い影響についての記述がない生徒が多く、交通網の整備による影響を多面的・多角的に思考できていないことが読み取れる。

事前調査2（令和2年9月下旬実施）※回答者124人

調査項目	とても	やや	肯定的	否定的	あまり	まったく
①社会科（地理的分野）の授業では、これまでに学習したことや資料などを根拠にして自分の考えをもつようになっています。	40%	56%	96%	4%	4%	0%
②社会科（地理的分野）の授業では、友達の意見を聞いて、自分には無い意見は取り入れたり、自分の意見が間違っている場合は変えることがあります。	67%	31%	98%	2%	2%	0%
③社会科（地理的分野）の授業では、自分の意見と違う意見を聞くときに、「それが本当に正しいのか」と深く考えるようになっています。	26%	54%	80%	20%	20%	0%
④社会科（地理的分野）の授業では、学習した内容を活かして、私たちが生活している社会の問題について考えることがある。	23%	54%	77%	23%	21%	2%

「論理的思考力」に係り、調査項目①から、ほとんどの生徒が根拠をもとにして自分の考えを持っていることが分かる。また、「自分の意見に根拠をもつ」ことも定着していることが分かる。これは、授業内で自分の意見に「理由」を付けて発表する場を設定する活動を行ってきた結果と言える。しかし、調査項目③の結果では、約2割の生徒が否定的評価をしている。調査項目②から他者の意見は積極的に取り入れていることがわかるが、その意見が正しいのか、どこに根拠があるのか等、意見を批判的に見る力が不十分であることも読み取れる。一見、調査項目①から論理的思考力は定着しているように見えるが、調査項目③との関係性を見ると、2割程度の生徒は定着していないと考えられる。調査項目④において、約2割の生徒が「学習した内容を現実の社会と照らし合わせられていないこと」がわかる。つまり、「学習内容（理解していること）をどう使うか」の視点が欠けており、社会科の学習と現実社会がつながっていないことがわかる。

<指導観>

本小項目では、生徒の主体的な学びを実現させながら、論理的思考力を身に付けさせたい。そのため、小項目の学習を通して獲得した見方・考え方を活用して身近な社会的事象の分析を行い、それに対して生徒がそれぞれの価値判断を行う場面を設定する。まず、1時間目に中国・四国地方の自然環境や歴史的な特色を確認する。2時間目には本州四国連絡橋の建設による影響に仮説を立てる。3時間目から明石海峡大橋を事例に交通網の整備によって物流が盛んになり、大きな都市（経済的優位性のある都市）では小さな都市からの買い物客が増加することや小さな都市（経済的優位性の低い都市）でも、物流が広域化し、販売路が拡大するなどの良い面の見方・考え方を獲得する。4時間目には、交通網の整備によって小さな都市で中心市街地の衰退や人口の流出などの悪い面の見方・考え方を獲得する。本時で行う5時間目には「高速道路料金の値下げ」という事例を扱う。この事例は、小さな都市にとって不利な状況を自らが作り出しているように見えるため、既習内容の見方・考え方では説明できない。それらを「観光客・観光収益が増加している資料」と「阿波地鶏の販路拡大の資料」を用いて反証させることで「交通網の整備によって、時間距離が短縮され、小さな都市で観光業が発展する場合がある」という見方・考え方を獲得する。このような中国・四国地方の現状をふまえ、本小項目の学習を通して、生徒に「交通網の整備によって地方の経済的優位性の低い都市において人口流出が発生したり、中心市街地が衰退するストロー現象があり、それと同時に時間距離の短縮というメリットを生かし、輸送や物流の利便性が上昇し、発展する産業があったり、かつ観光業が発展する可能性がある」という見方を獲得させる。そして、本小項目の最後に、中央新幹線建設の影響について、既に得ている見方・考え方を働かせて考察させる。

このように、小項目を通して、経済的な見方・考え方を段階的に獲得し、知識の成長を図る。そして、生徒観での課題として挙げている「学習した内容を活かして、私たちが生活している社会の問題について考える」の数値が低かったことに対して、小項目の最後に、近年注目されている中央新幹線の建設と

いう社会的事象に対して、学習した見方・考え方を働かせて考察する。これによって生徒は、授業で獲得した見方・考え方を現実社会において有意義なものとして認識ができる。この学習過程を踏むことで、生徒により授業の学習内容を現実社会と照らし合わせようとする意識を芽生えさせることができると考える。

また、この学習過程は、仮説を立て、諸資料を活用し、問題と結果を分析し、得た知識を他の事象（中央新幹線の建設による影響）に転移させる。まず、小項目の2時間目に中国・四国地方の社会的問題と初めて向き合うが、交通網という生徒の日常にも無意識のうちに関わっているものであるため、日常の体験を通して仮説を立てることができる。日常の体験から立てた仮説を保持した状態で、諸資料を使いながら科学的に分析して、新たに社会的な見方・考え方を獲得していく。このような思考の流れを踏むことで、さらにはこの流れを何度も繰り返し行うことで、生徒の論理的思考の流れを育成していく。

2 小項目の目標

- 中国・四国地方で人口の偏在が起きているという地域的特色を、交通網の発達など社会資本の整備を通して、理解できる。
- 社会資本の整備が、地域社会にメリットとデメリットを与えることに気づき、各地域においてメリットを活かしたまちづくりが行われていることを理解できる。
- 学習した理論を活用して、中央新幹線（リニア新幹線）の建設による影響について考察し、表現できる。

3 小項目の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方において交通網の発達など社会資本の整備によって、経済的優位性の大きい都市と小さい都市でストロー現象が起きる場合があることを理解している。 ・経済的優位性の小さい都市では、観光業が発展する場合があることを理解している。 ・中国・四国地方の自然環境の特色を中国・四国地方の地形から理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方の地域的特色について、多面的・多角的に考察できている。 ・神戸淡路鳴門自動車道がもたらす影響を既習の理論を用いて考察できている。 ・学習した理論を活用して、中央新幹線（リニア新幹線）の建設による影響について考察し、表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小項目を通して、社会資本の整備がもたらす影響を主体的に考察している。 ・持続可能な社会の実現に向けて、地域で見られる課題を追究している。

4 小項目の計画について（全6時間 本時5／6）

次	学習内容（時数）	評 価				
		知識 技能	思考 判断 表現	学びに 向かう 力	評価 方法	
一	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方の自然環境の特色を降水量の違いを通して理解する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方の自然環境の特色を中国・四国地方の地形から説明している。 	ノート等

二	<ul style="list-style-type: none"> 中国・四国地方には、古代から海上交通の要所としての機能があったことを理解する。 本州四国連絡橋の建設が与えた影響について、仮説を立てる。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 中国・四国地方は、歴史的に海上交通の要所としての機能があったことを理解している。 本州四国連絡橋の建設が与えた影響について、主体的に探究している。 	ノート等 ノート、発言等
三	<ul style="list-style-type: none"> 神戸淡路鳴門自動車道を事例に、交通網の整備によるメリットを理解する。(例)時間距離の短縮、物流の広域化、自動車交通量の増加 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、交通網の整備により、大きな都市の商業が活発化する良い面について考察している。 諸資料から、交通網の整備により、大きな都市の商業が活発化することを理解している。 	ノート、机間指導等

【獲得させる見方・考え方】

交通網が整備されると、時間距離が短縮され、大きな都市（経済的優位性のある都市）では買い物客が増加するなどの良い面がある。

四	<ul style="list-style-type: none"> 神戸淡路鳴門自動車道を事例に、交通網の整備が地域経済の衰退をもたらすことを理解する。(例)中心市街地の衰退、フェリー会社の倒産、人口の流出 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、交通網の整備により、小さな都市の商業やフェリー業界が衰退することを考察している。 諸資料から、交通網の整備により、小さな都市の商業やフェリー業界が衰退すること理解している。 	ノート、机間指導等
---	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	--	---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

見方・考え方の広がり

【獲得させる見方・考え方】

交通網が整備されると、時間距離が短縮され、大きな都市（経済的優位性のある都市）では買い物客が増加するなどの良い面がある。しかし、より小さな都市では人口の流出や商店が衰退するなど、地域経済が衰退する。(ストロー現象)

五	<ul style="list-style-type: none"> 神戸淡路鳴門自動車道を事例に、「小さな都市の高速道路の無料化の歓迎」を事例に、時間距離が短縮された結果、観光業が発展するというこを理解する。(例)時間距離の短縮、観光客の増加 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、交通網の整備により、時間距離が縮まり、小さな都市の観光資源を生かした観光業が発展していることを考察している。 諸資料から、交通網の整備により、時間距離が縮まり、小さな都市の観光資源を生かした観光業が発展していることを理解している。 	ノート、机間指導等
---	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	--	---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

見方・考え方の広がり

【獲得させる見方・考え方】

交通網が整備されると、時間距離が短縮され、大きな都市（経済的優位性のある都市）では買い物客が増加するなどの良い面がある。一方、より小さな都市では人口の流出や商店が衰退するなど、地域経済が衰退する悪い面もある。(ストロー現象) また、小さな都市では大きな都市からの観光客が増え、観光業が発展する場合や、なかには時間距離の短縮を活かして小さな都市の産業が発達する場合もある。

六	<ul style="list-style-type: none"> 中央新幹線（リニア新幹線）を建設した結果、どのような影響があるのか、既習の見方・考え方を活用しながら、意見(单元レポート)を書く。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料と既習の見方・考え方を活用して、中央新幹線を建設した結果、どのような影響があるのか、自分の言葉でまとめられている。 現在社会で起きている事象を、諸資料を活用しながら主体的に探求している。 	レポート、机間指導等
---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	---	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

ルーブリック評価（単元レポート）

A評価	B評価	C評価
中央新幹線建設の影響(メリット・デメリット)について、授業で学習した見方・考え方を活用して、経済的優位性のある都市と無い都市の2つの視点から説明できている。	中央新幹線建設の影響(メリット・デメリット)について、授業で学習した見方・考え方を活用して、経済的優位性のある都市と無い都市のどちらか一方の視点からのみ説明できている。	中央新幹線建設の影響(メリット・デメリット)について、授業で学習した見方・考え方を活用して、説明できていない。

(例)中央新幹線（リニア新幹線）が開通すると、移動時間の大幅な短縮により、観光を目的とした観光客やビジネスを目的とした人々の移動が増加すると考えられる。一方で、途中の駅などは大都市と短時間で結ばれるため、小さな都市での消費が減少するストロー現象が発生すると考えられる。

5 本時について

(1) 目標

- ・「小さな都市の高速道路の無料化の歓迎」を事例を通して、時間距離が短縮された結果、小さな都市の観光業が発展する場合があることを理解する。
- ・「徳島県の阿波尾鶏」の事例を通して、時間距離が短縮された結果、販路が拡大されたことで出荷量が増大したことを知り、小さな都市でも産業が発展する場合もあることを理解する。

(2) 準備物

- ・高速道路料金の値下げに関する資料
- ・徳島県の観光地におけるアンケートの調査結果
- ・阿波尾鶏の販売量増加に関する資料
- ・明石海峡大橋の建設以降に観光客が増加したことを示す資料

(3) 展開

学 習 活 動 ○発問 ・予想される生徒の発言・思考	・指導上の留意点 ☆評価規準【評価方法】 ○振り返り活動・表現の工夫に向けての手立て
<p>1 課題意識をもつ。 「高速道路料金の値下げ」に関する資料を見る。 ○「徳島県の知事は、高速道路料金の値下げをなぜ歓迎しているのだろうか？」 ○「交通網の発達はどのような悪い影響があったのだろうか？」 ・「より大きな都市の商業が発達し、小さな都市の商業が衰退するストロー現象が起きるのでは。」</p> <p>2 課題を設定する。</p>	<p>・ICT機器を用い、前時までのまとめを振り返る。</p> <p>・Google スライドを用いて、前時までに獲得した見方・考え方（「交通網が整備されると、時間距離が短縮され、大きな都市（経済的優位性のある都市）では買い物客が増加するなどの良い面がある。しかし、より小さな都市では人口の流出や商店が衰退するなど、地域経済が衰退する。（ストロー現象）」）を振り返る。</p>
<p>【めあて】 高速道路料金の値下げは、小さな都市にマイナスの影響を与えるはずなのに、なぜ歓迎しているか、その理由を考えよう。</p>	
<p>3 課題に対して、取り組む。 ○「値下げを歓迎するという事は、自分から衰退しようとしているのかな？」 ・「何か別のメリットがあるはず」</p> <p>4 それぞれの資料を分析する。</p> <p>A：観光客・観光収益が増加している統計を視る。 ・「高速道路が開通した後、観光業が発展しているね」</p> <p>B：「阿波尾鶏」の販路拡大の資料を視る。 ・「高速道路が整備されて、阿波尾鶏が全国各地で販売されるようになって、売上も伸びているね。」</p>	<p>・学習班を作り、協力して役割を分担させる。</p> <p>・ICT機器を用い、資料をデータで配布する。</p> <p>☆諸資料から、交通網の整備により、時間距離が縮まり、小さな都市の観光資源を生かした観光業が発展していることを考察している。</p>

C:「コンビニの展開」の資料を視る。

- ・「高速道路が開通して、商品を輸送しやすくなったから、コンビニが増えているね。」

個人思考



集団思考

- ・同じ資料を分析した人同士で、意見を交流する。

- ・学習班で話し合いの結果を持ち寄り、課題に対する答えを出し、スライドにまとめる。

5 全体 (集団思考) で交流する。

○「交通網の整備はどんな影響があることが読み取れましたか？」

- ・「高速道路が開通したら、大きな都市から観光客が増えています。」
- ・「高速道路が開通したら、小さな都市の阿波尾鶏の売上が伸びています。」
- ・「高速道路が開通して、商品を輸送しやすくなったから、コンビニが増えているね。」

実際に観光客が増えているのか、グラフを確認する。

- ・「特に関西圏から観光客が多く来ているね」

6 本時のまとめを行う。

- ・まとめを記入する。

(例)

・高速道路(交通網の整備によって)、小さな都市では大きな都市からの観光客が増え、①観光業が発展する場合や、なかには時間距離の短縮を活かして②小さな都市の産業が発達する場合もある。

- ・まとめを全体で共有する。
- ・小項目の3～本時までのまとめをスライドに記入する。

7 振り返りをする。

(例)

・交通網の発達は、より大きな都市にも小さな都市にもメリットがあることがわかってきました。
・初めは、交通網が整備されることは、良い面しかないと思っていたけれど、悪い面もあることを知り、両面で見えていかないといけないなと感じました。

8 次時への見通しを持つ。

- ・リニア新幹線の動画を見る。

- ・Google スライドを用い、班ごとの意見を入力させる。

- ・Jamboard を用い、個人思考した結果を、同じ資料を分析した人同士で、意見交流させる。

- ・学習班で出た意見は、Google スライドに記入させる。

- ・Google スライドを用い、話し合いの結果を学級全体で共有できるようにする。

☆諸資料から、交通網の整備により、時間距離が縮まり、小さな都市の観光資源を生かした観光業が発展していることを理解している。

- ・ICT機器を活用し、全体で交流する。
- ・小項目の3時間目から本時まで見方・考え方が発展してきたことを確認する。

- ・ICT機器を活用し、スライドに記入させる。
- ・ICT機器を活用し、スライドに記入させる。

○疑問に思ったことやもっと調べてみたいこと、授業を通して気づいたことなどを「振り返り」に記入する。

6 板書計画

11/20 **めあて**:「高速道路料金の値下げは、小さな都市にマイナスの影響を与えるはずなのに、なぜ歓迎しているか、その理由を考えよう。」

〈Aの資料〉

高速道路が開通したら、大きな都市から観光客が増えています。

〈Bの資料〉

高速道路が開通したら、小さな都市の産業が発展（売上を伸ば）しています。

〈Cの資料〉

高速道路が開通して、商品を輸送しやすくなったから、コンビニが増えているね。

まとめ

振り返り

小さな都市の観光業やなかには発展する産業もある。